

社說

恐怖は商業上に生ずる一種の恐怖心にして商業
社會に資金流通の道杜絶し信用機關の作用斷滅したる
場合には到底その襲來を免かれざるものと覺悟せざる
可らず我經濟社會に種々不穏の狀を呈したる今日恐怖
襲來の說あるも畢竟此邊の考より出でたるものなれば
なれども果して前途に斯る危險あるや否やは始く擱き
兎に角に恐懼の際には資金の欠乏甚だしきが爲め諸
株式が非常に下落するは勿論諸物價も暴騰の反動として
暴落を見るとならん或は世間に斯く株式が下落する
を以て一國の富財が消滅するが如くに考へ恐怖の災害
も全く此一點に在るが如くに云ふ者もあれども是は事
の真相を解せざる説と云はざる可らず本來株式の騰落
は一國經濟の消長に因縁の浅きものにして如何に其價
が下落すればとて損失を被る者は唯一時市場の景氣に
浮されて高價で買入れたる輩にして斯る株式專門の虛
り見れば其騰落は殆ど意に介するに足らざるなり物價
業家が苦しむ其一方には下落したる株式を買受け他日
の購賣を得て利益する者もある可ければ社會の全體より
見れば其騰落は殆ど意に介するに足らざるなり物價
の變動も亦れど同様の事情にして商品を所有する者
みそ其下落の爲めに意外の損失を被れども之を買入る
者は利益して双方の損得自から相補ふとなれ近頃新
潟縣下に於て爆發物を鐵道會社に投じて機關車を始め
幾萬圓の有價物を一瞬の間に破碎せしめたるの談あり
怖ろしき災害なれども恐怖の害は全く異にして決して
に與ふるものにして一國全體の富財を殺いで他
所なしとすれば其下落を見て直に富財の消滅するが如
きが如くなれども其下落は社會一部の利益を殺いで他
も經濟社會の發達に最も必要なるは萬般の事情が常に
も一方の損は他の得となりて社會全體に於て差支へな
れば恐懼の秩序を保ちて安らぎに變動せざるの一點に在り左
の恐怖心は容易に解まる能はず資產家が株式下落の爲
めに財産を失ひ從來經營せる事業を縮少して時節の到来
不穩の傾向りど云へば事業の擴張を企てたる者も之を
見合せて資本の回収を謀りて意外の損失を避けんとする
は自然の情にして或は其機會を利して下落したる株
式を買受けけるなど種々機会の投機を運らして利を占む
るもののあらんなれども其利益が直に資本となりて事業
を幫助するは到底當む可らずとなれば經濟社會に恐
怖の憂慮する間は一時事業の沈黙は到底見かる可らず
云へば營業付けたる機械も運轉せず買入
料等生産費用を爲さる事の不始末を來し
て實に株式又は物價の下落を促がすに止まらず其害た

○ 級任辭令

る殆んど云ふに足らざれども實際の成行を見るに一時の變動より生産業に不測の害を及ぼし有爲の資本を消失せしむるなどの場合甚少なしとせず恐慌豈よ可しと云ふは即ち斯る意外の災害あるが爲めにして世人が之を明にしていよく襲來の曉には適當の救濟法を施さんなど我輩の望む所なり

衛生及び商業も亦大に進歩したり臺北の排水工事其
他近々功を峻ふべく内地の貨物臺灣に送らるるもの日
に増し多く酒、烟草の如き近來は土人の飲もの横々と
して加はり同時に臺灣米及び鹽の内地に來るもの歸航
の船便毎にあるの勢ひなれば今後同地との商業は愈々
益々發達すべし

地方行政も下級行政の實施以來は目的の通り次第

○外國宣教師と
みて兩湖總督は盡に
總督も亦宣教師に對
する所ある可しと上
文那新聞に見ゆ

同	北海道廳事務官(兼第官四等)	(殖民部長)非職司稅官	山形	情人
	(同五等)(土木部長)		山崎	忠門
任	北海道廳參事官(同六等)		横田太一郎	
任	北海道廳支廳長同(河西)		福岡縣八女郡長	宮本玉三郎
同	(同)(宮內)		田中	坤六
同	(同七等(總志))		岡次郎太郎	
	(同六等(祭谷))	北海道廳參事官	高岡	直吉
	(同七等(別院))	岡山縣小田郡長	萬山	省三
	(同)(鴨毛)	非職司實業團東葉井郡長	山村	通雄
	(同)(小城)	同上	松村	雄之
	(同)(舊都)	長野縣下伊那郡長	平野	勝次郎
	任	長野縣浮羽郡長(同六等)	鷲岡縣浮羽郡長	田中
	任	任(同七等)	非職司木縣安波郡長	廣介
	任	任(同六等)	岡山縣後月郡長	川田
	任	任(同七等)	伊丹	義徳
	任	任(同六等)	西久保弘道	
	任	任(同七等)	立石	包正
	任	任(同六等)	德損	敬重
	新橋停車場木家附屬課長及	鐵道技術(青木)	青木	勇
	其他事務室一棟改鋪升昇鐵工事既滿部分檢	鐵道技術(谷)	谷	三郎
	查	通信技術(神戸)	丹羽萬之助	
	査	通信技術(神戸)	吉川	公介
	二月十一日)	通信技術(神戸)	藤井	九萬三
國	山縣下上道郡西大寺町西大寺紡織株式會社實業工事ノ検査フ命ス			
國	京都府下愛宕郡大室村第財穀物合賣會社電燈工事ノ検査フ命ス			
國	大阪停車場木家新築工事既滿部分検査フ命ス			
國	中央鐵道築ノ井鹽尻間第六工區ノ内自十五哩四十號至十七哩五十五號工事既滿部分第二回検査フ命ス			
國	新橋停車場木家附屬課長及			
國	其他事務室一棟改鋪升昇鐵工事既滿部分檢			
國	查			
國	二月十一日)			
○	臺灣統治の近狀			
○	臺灣統治の近狀			

々々に上意は下達し、下情は上達して官民日に益々和せり
斯く全體を観るときは今後五箇年位にて臺灣の經濟を獨立せしむるも決して難きに非ず。士匪の生命財産を危くするものなく上下の情は相通じ農工商の業愈々盛なるに至れば低稅の臺灣土人、多少の増稅に甘んずるは勿論、其國防の義務にも奮つて當るべし。且下は其道行中なりと云々

○清獨兩兵の再衝突 獨逸兵は膠州灣を去る程遼からぬ膠州を略取せんとする時に當り守備兵と小衝突を惹起せしが尙ほ別に兩兵の間に衝突起りたる由にして除隊されたる一群の支那兵は奪標の目的を以て獨逸兵の駐屯せる附近の一村に侵入し暴行を恣にせしかば之を追ひ散らさん爲め獨逸兵は發砲し三四人を倒したりと云ふ又占領の當時逃走せる青鶴の人民も今や歸り來り獨逸軍に雇はれ兵營の建築に從事し居るとなりが膠州灣を占領せり以來、支那人は自から獨逸人に快からず其餘波延て吳淞に於て軍隊を訓練し居る彼の國の教官を解僕せんとするの議支那官吏の間に起りしに

○膠州灣事件と獨逸教官の解僕 獨逸艦隊

（さき影響）鐵道貨物輸
つゝある直接間接の
其最も著しき不利不
過追其一なり荷爲移
其二なり貨物發着の
る損失其三なり淹滯
め雨天に際しては潤
比較的高價の運賃を
を補らざるを得ざる
又は發送の時日を豫
り自家の倉庫填塞し
貯蔵料を支拂はざる
爲め相場の變動と蒙
渡りより生ずる手連
濱の市價と著しき懸
する其十なり此等の
のあらん現に甲信越
に輸送し來たる生絲
を當て通し平日を

臺灣統治の事に關しては世間に種々の評論あり甚だしきに至りては目下の有様にては日本人には新領地を統治するの能力なきを言ふものあり此等は臺灣行政の一部を見て其他を知らざる者の論なり獄事件、高野問題の如きあればとて此二問題あるの故を以て日本人に統治力なしと断ずるは妄も亦甚し試みに目下臺灣統治の模様を見ば能力なき所か却て大に之あるを知るに足らん

●●●●

治安保護 軍隊、憲兵、巡査の三を以て今や區劃整然として人民の生命財産を保護するの方法も立ち土匪の如き次第に減少を見るに同時に土人と内地人との親睦は日に益々厚きを加ふ

●●●●

運輸交通 に至つては臺灣道路の重なる幹線は軍道又國道として幾んど悉く改修し今や二間幅若しくは四間幅の道路坦々として砾の如きものを見る之を東京の道路に比せば更に優れるのみならず支線の如きも明年より夫れぐ着手する筈にて臺灣鐵道も追々起工せられんには運輸交通の便益々開けて内地に譲らざる日も遠からざるべし

●●●●

教育事業 は意外の好結果を奏して語學傳習生は固より先般八芝蘭に女學校を設けて國語及び裁縫等を教める事となしたるに同地の婦人女子は多く文字を知らざるが故て招集歸く入校以來支那字の如く面倒ならざる我いぢは四十七文字の覺え易きに満足し早速いぢはにれ十箇を繕り互ひに文通するのみか子供を連れて親子共に歸郷へ還る者さへあり此等の婦人女子よりして語の傳授すると他日必ず豫想の外に出づるものあらん

風説専らなりと上海新聞に見ゆ
○膠州灣守將の拘囚に就て 膠州灣の總統軍
高元の拘囚一件に就ては既に屢々記せしが更に別報に
據れば章が此厄に遭ひたるは獨逸兵の不法占領と詰ら
んとして司令官を訪ひたる故に非ず占領の際獨逸隊
司令官は章に對し速撃して支那人の抵抗を制する布告
を發せんみどを求めるに章は之を拒絶せるが爲めに
て彼れと共に部下の兵卒四名を拘囚されしが其待遇は
左程残酷ならず忍みを得しも章は艦内に暗室に幽閉さ
れ最初は随分虐待を被りたり斯て數日間獨逸の旗艦に
伴はしめ膠州灣を去る二哩の地に於て放逐せるよし又
囚はれ居たれども拘囚したりとて何等の得る所なきを
悟り司令官は之を解放するふとに決し水兵をして章に
伴はしめ膠州灣内へ侵入したる時章總統が中央政府へ向つて
防戦の許可を求めたるは事實にして李巡撫が彼を強制
せらるは此要求を中央政府に於て退けたるを知らざるに
依ると支那新聞は報せり

○支那の金流出制止案 通政司參議楊宣治は先
頃上奏して金本位制採用の必要と主張し之を實行する
爲めには先づ金の海外流出を拒ぐの策を施さる可
から乍々建議せる由は上海特報に見えたるが總理衙門
に依て金産出地の地方官は直に其年產額を調査して實
況を報告し又他の官吏は管轄内へ皆く人を派して金礦
を陸索せしめ若し鑑見せる時は早速中央政府へ報告
可じとの命を受けたりと云ふ

此五六日間爲換期日（即日以上）延着する爲
て荷爲換延滞日歩の如き損失高は幾十萬圓
す是は之れ僅に該経済の延着損害の一例に過ぎ
ないに上れり若し夫れ二物の延着するふとど
うかの傾きあればなり現るに隨て強大なる過
ぎるに於ては之の大原因なりと認むる
て鐵道局に於ては之の責務なるに商品の運送
さるのみならず却て鐵道其他の支拂いを増加
及び中止運送の如きの傾きあればなり現る
百五十輛を運用せよと定めたる旨